

# 兵庫県公報

平成20年3月31日 月曜日 第3号外

発行人  
兵庫県  
神戸市中央区下山手通  
5丁目10番1号

毎週火曜日及び金曜日発行、  
その日が休日のときはその翌日



(兵庫県民の旗 = 県旗)

## 目次

監査委員公告 包括外部監査の結果に関する報告の公表について .....	ページ 1
--	----------

## 監査委員公告

平成20年3月31日

### 兵庫県監査委員

北川 泰寿  
天宅 陸行  
久保 敏彦  
小田 毅

### 包括外部監査の結果に関する報告の公表について

包括外部監査人から包括外部監査の結果報告書の提出があったので、地方自治法（昭和22年法律第67号）第252条の38第3項の規定により、次のとおり公表する。

平成 19 年度  
包括外部監査の結果報告書

兵庫県立大学の財務に関する事務の執行及び運営の管理について

平成 20 年 3 月  
兵 庫 県 包 括 外 部 監 査 人  
公認会計士 中谷紀之

## 目次

## 第一 外部監査の概要

1	外部監査の種類	1
2	選定した特定の事件（監査のテーマ）	1
3	特定の事件（監査のテーマ）を選定した理由	1
4	外部監査の方法	2
5	監査の主な着眼点	2
6	外部監査の実施期間	2
7	外部監査人補助者の資格及び氏名	2
8	利害関係	3

## 第二 監査対象機関の概要

1	県立大学の概要	4
2	神戸学園都市キャンパス	24
3	姫路書写キャンパス	38
4	播磨科学公園都市キャンパス	51
5	姫路新在家キャンパス	62
6	明石キャンパス	71
7	神戸キャンパス	79
8	県立大学附属高等学校及び附属中学校	87
9	附置研究所	
	A 経済経営研究所	93
	B 高度産業科学技術研究所	98
	C 自然・環境科学研究所	102
	D 地域ケア開発研究所	106
10	学生部	109
11	総合教育センター	112
12	学術総合情報センター	121
13	生涯学習交流センター	128
14	産学連携センター	133
15	国際交流センター	138

## 第三 監査結果（指摘事項及び意見）

1	収納事務に関する事項	145
2	教育研究活動に関する事項	169
3	総合教育センターの教育改革に関する事項	196
4	学術総合情報センターの情報システムに関する事項	200
5	人件費に関する事項	202
6	請負・委託契約事務に関する事項	220
7	その他支出（需用費・旅費等）に関する事項	
	A 需用費及び備品購入費	242
	B 旅費	244
	C 役務費、使用料及び賃借料	246
8	人事管理に関する事項	248
9	公有財産（不動産）の管理に関する事項	255
10	知的財産の管理に関する事項	263
11	図書の管理に関する事項	268
12	備品の管理に関する事項	275
13	薬品の管理に関する事項	288
14	財務諸表の試算並びに他の公立大学との比較に関する事項	291
15	第1期中期計画の達成状況並びに課題に関する事項	304
16	第2期中期計画とこれに対する意見	338
17	その他の事項	350
18	指摘事項及び意見のまとめ	355

本報告書の各表に表示されている合計数値は、端数処理の関係上、  
その内訳の単純合計と一致しない場合があります。

## 第一 外部監査の概要

### 1. 外部監査の種類

地方自治法第252条の37第1項の規定に基づく包括外部監査

### 2. 選定した特定の事件（監査のテーマ）

#### (1) 外部監査の対象

兵庫県立大学の財務に関する事務の執行及び運営の管理について

#### (2) 監査対象機関

兵庫県立大学

#### (3) 監査対象期間

原則として平成18年度（必要に応じて前年度及び平成19年度についても対象とした。）

### 3. 特定の事件（監査のテーマ）を選定した理由

大学を取り巻く環境は、グローバル化、高度情報化と共に少子高齢化社会の進行など大きく変化し、大学に対する社会のニーズもますます多様化している。こうした環境下平成16年度には国立大学が一斉に法人化され、公立大学も平成19年度迄に34校が法人化されるなど私立大学も巻き込んだ大学間競争が激化しており、各大学共、教育研究の活性化や管理運営の効率化、自主性、自律性の確立など抜本的な改革が求められている。

兵庫県においても、平成16年4月に神戸商科大学、姫路工業大学、兵庫県立看護大学の3つの県立大学と統合し、既存設備の有効活用を図りつつ、その総合性、効率性、機動性を十二分に発揮させることにより、21世紀にふさわしい県立大学の構築を目指し、新しい兵庫県立大学を設置した。この開学当初に、新県立大学の基本理念、教育研究の充実強化や地域貢献の積極的展開、自主的、自律的な管理体制の確立等を内容とする3年間（平成16年4月1日～平成19年3月31日）の中期計画を策定している。

この中期計画が、平成18年度に終了したことから、この中期計画の達成状況を検証すること並びにこれにあわせて、県立大学の教育研究業務、地域社会や国際社会への貢献業務の執行状況及び大学運営の管理状況が地方自治法第2条14項及び15項の趣旨を達成しているかについて監査を行うことは有意義であると考え、「県立大学の財務に関する事務の執行及び運営の管理」を特定の事件として選定した。

#### 4. 外部監査の方法

兵庫県立大学における財務事務の執行が関係法令及び内部規則に従って適正に実施されているかどうか、また経済的かつ有効的、効率的に実施されているかどうかについて主眼をおき、関係帳簿書類の閲覧、分析及び質問等により必要と認める監査手続を実施した。

#### 5. 監査の主な着眼点

- ① 収納事務が関係法令、規則等に準拠しているかの検証
- ② 人件費、需用費等の支出事務及び請負、委託契約事務が関係法令、規則等に準拠しているかの検証
- ③ 教育研究費の予算管理状況並びに執行状況の検証
- ④ 外部研究資金の獲得状況及び受託研究、共同研究の推進状況の検証
- ⑤ 公有財産・図書・備品・薬品の管理状況の検証
- ⑥ 人事管理制度の運用状況の検証
- ⑦ 大学教育改革の推進状況の検証
- ⑧ 情報システムの整備・運用状況等事務効率化の推進状況の検証
- ⑨ 地域社会や国際社会への貢献活動状況の検証
- ⑩ 3 大学統合のメリットの発揮状況の検証
- ⑪ 貸借対照表、損益計算書の試算並びに他の公立大学との比較
- ⑫ 行政コスト計算書の試算並びに他の公立大学との比較コストの検証
- ⑬ 第1期中期計画の達成度の評価並びに課題の検討
- ⑭ 第2期中期計画の批判的検討

#### 6. 外部監査の実施期間

平成19年7月18日より平成20年3月4日まで

#### 7. 外部監査人補助者の資格及び氏名

公認会計士	常	本	良	治
公認会計士	神	田	正	史
公認会計士	坊	垣	慶	二郎
公認会計士	黒	川	智	哉
公認会計士	村	上	純	二
公認会計士	稲	本	憲	暁

8. 利害関係

包括外部監査の対象とした事件につき、法第252条の29の規定により記載すべき利害関係はない。

## 第二 監査対象機関の概要

### 1. 県立大学の概要

#### (1) 県立大学の設置根拠

- a. 県立大学は「兵庫県立大学の設置及び管理に関する条例」（平成16年3月26日兵庫県条例第18号）により、平成16年4月1日に神戸市中央区東川崎町1丁目に設置している。本条例第1条に設置目的を次のように定めている。

豊かで多様な自然と社会を有し、世界に開かれ日本の近代化を先導した地域である兵庫の総合的な知の拠点として、人文科学、社会科学及び自然科学の発展とこれらの融合を目指す教育と研究を推進することにより、豊かな人間性を備えた創造的な人材を育成し、あわせて学術的な新知見を国内外に発信し、もって地域の活性化と我が国の発展に寄与するため、兵庫県立大学（以下「大学」という。）を置く。

- b. 本条例第4条に大学に次の6学部を置くと定めている。

経済学部	(神戸市西区学園西町8丁目)
経営学部	(神戸市西区学園西町8丁目)
工学部	(姫路市書写)
理学部	(赤穂郡上郡町光都3丁目)
環境人間学部	(姫路市新在家本町1丁目)
看護学部	(明石市北王子町)

- c. 本条例第5条に大学に大学院として次の9研究科を置くと定めている。

経済学研究科	(神戸市西区学園西町8丁目)
経営学研究科	(神戸市西区学園西町8丁目)
会計研究科	(神戸市西区学園西町8丁目)
工学研究科	(姫路市書写)
物質理学研究科	(赤穂郡上郡町光都3丁目)
生命理学研究科	(赤穂郡上郡町光都3丁目)
環境人間学研究科	(姫路市新在家本町1丁目)
	(三田市弥生が丘6丁目)
看護学研究科	(明石市北王子町)
応用情報科学研究科	(神戸市中央区東川崎町1丁目)

- d. 本条例第6条に大学に次の4研究所を附置すると定めている。

経済経営研究所	(神戸市西区学園西町8丁目)
高度産業科学技術研究所	(赤穂郡上郡町光都3丁目)
自然・環境科学研究所	自然環境系 (三田市弥生が丘6丁目)
	景観園芸系 (淡路市野島常盤)

	田園生態系	(豊岡市祥雲寺)
	宇宙天文系	(佐用郡佐用町西河内)
	森林・動物系	(丹波市青垣町沢野)
地域ケア開発研究所		(明石市北王子町)

e. 本条例第7条から第11条において次のセンター等を置くと定めている。

第7条	学術総合情報センター	(神戸市中央区東川崎町1丁目)
第8条	兵庫県立大学附属高等学校	(赤穂郡上郡町光都3丁目)
	兵庫県立大学附属中学校	(赤穂郡上郡町光都3丁目)
第9条	生涯学習交流センター	(神戸市中央区東川崎町1丁目)
第10条	産学連携センター	(神戸市中央区東川崎町1丁目)
	産学連携センターの支所として、姫路産学連携センター	(姫路市書写)
第11条	国際交流センター	(神戸市中央区東川崎町1丁目)

## (2) 県立大学の沿革

兵庫県より平成13年12月に公表された新県立大学基本計画によると県立大学設置に至る経緯が記載されている。これによると次のように要約される。

兵庫県では昭和23年に神戸商科大学、昭和24年に姫路工業大学、平成5年に兵庫県立看護大学が設置され、各大学は、時代の諸要請にこたえつつ、各分野における教育研究の拠点としての役割を果たし、本県における地域施策推進の一翼を担うとともに、高等教育の発展に寄与してきた。しかしながら、社会環境の変化の中で、県立大学においても教育改革の推進、管理運営における自主性・自律性の確立など抜本的な改革の必要性に迫られてきたこと、さらに県立大学として研究成果を地域社会に還元し、安心安全な地域づくりや地域経済の活力の維持向上につながるよう貢献することが期待されていること等から、平成12年11月に県立大学検討懇話会から「3大学を一つに統合することが望まれる」との提言を受けて、県立大学改革推進委員会を設置し、同委員会から新県立大学の基本理念、教育・研究の充実強化や地域貢献の積極的展開、自主的・自律的な管理運営体制の確立等を内容とする「新県立大学基本計画案」の提出を受け、この計画案を基に、県民から寄せられた意見も参考にして、「新県立大学基本計画」を策定した。

県立大学は、この「新県立大学基本計画」に基づき、神戸商科大学、姫路工業大学、兵庫県立看護大学の3つの県立大学を新しい理念のもとに統合し、平成16年4月に総合大学として設置されたものである。これら3大学の沿革の概要は以下のとおりである。

### ・神戸商科大学

昭和4年、兵庫県立神戸高等商業学校として開校。昭和23年には、全国で初めての公立新制大学として神戸商科大学設置。昭和40年に大学院経営学研究科（修士課程）、昭和

42年に大学院経済学研究科（修士課程）、昭和46年に大学院博士課程（経営学研究科・経済学研究科）設置。平成2年に神戸研究学園都市へ移転し、平成16年から兵庫県立大学へ移行した。

・姫路工業大学

昭和19年、兵庫県立高等工業高校として開校。昭和24年に工業系単科大学の姫路工業大学として発足。順次学科を増設し、平成5年には8学科体制へ。平成2年に理学部、さらに平成10年には環境人間学部を設置。平成9～11年にかけて、大学院工学研究科を設置。現在までに、約12,500名の工学士、約1,980名の修士（工学）、110名の博士（工学）を輩出し、平成16年から兵庫県立大学へ移行した。

・兵庫県立看護大学

平成5年、国公立では初の看護系4年制単科大学として開学。平成9年に関西地区初の大学院修士課程、平成11年に大学院博士後期課程を開学。平成13年には兵庫県立看護大学附属研究所推進センターを設立。また、平成7年に発生した阪神・淡路大震災を契機に災害看護学会を発足。平成16年から兵庫県立大学へ移行した。

### (3) 目指す大学像（基本理念）

目指す大学像（基本理念）として次の3点を上げている。

- ・教育の成果を誇り得る人間性豊かな大学
- ・先導的・独創的な研究を行う個性豊かな大学
- ・世界に開かれ、地域とともに発展する夢豊かな大学

これらの内容は「新県立大学基本計画」に次のように記載されている。

#### ①教育の成果を誇り得る人間性豊かな大学

いのちの尊重に根ざした豊かな人間性ととともに、幅広い教養や専門知識・技能を含めた課題探求能力とグローバル・リテラシー（国際対話能力）を備えた、地域や国際社会で活躍できる創造性と自律性を有する人を育成する。

そのため、学生の多様な選択を可能とする総合的な教育資源を生かしつつ、国際的に通用性のある教育内容の充実を図ることはもとより、実践的経験を重視する効果的な授業方法や、学生と教員の十分な交流を通して、互いに学問への情熱を高め合い、学生自らが自覚を持って能力を伸長し得る教育を進める。

そうした教育を通して、震災の教訓も踏まえた共生社会の一員としての自覚を持ち、国際的に通用する資質や能力を備えた人として社会に送り出すことのできる、教育の成果を誇り得る大学を目指す。

## ②先導的・独創的な研究を行う個性豊かな大学

兵庫県に存する高度な研究基盤を生かした先導的・創造的な研究を、県内に集積する様々な分野の研究機関等との連携の中で進め、最先端の知識と技術の蓄積と地域への還元を図る。

また、豊かな自然や生態系などの資源に恵まれ、震災からの創造的復興という貴重な経験を持つ兵庫県の地域特性を踏まえつつ、人と自然や社会とのかかわりに関する多面的な研究や、防災・災害対応、ヘルスケア等の安全・安心な地域づくりに関する研究などを行う。

そうした研究成果を広く地域社会や国際社会に還元することを通して、世界に向けて発信できる独自性の高い研究を行う個性豊かな大学を目指す。

## ③世界に開かれ、地域とともに発展する夢豊かな大学

県民の生涯学習ニーズにこたえ、他大学との連携を図りつつ、大学の教育機能を広く開放するなど地域社会の発展に貢献するとともに、県内に集積する科学技術関連機関や企業等とも連携を図りながら、新産業の創造や地域産業の振興に寄与する。

また、兵庫県に存する国際交流基盤や情報基盤等の活用により、教育研究における国際交流を進めるとともに、教育研究成果の蓄積を生かしつつ、世界に向けた学術文化の発信に努める。

そうした取組を通して、地域社会や国際社会の発展に貢献するとともに、それらの発展によってもたらされる恩恵を、大学の教育や研究、社会サービスに生かしていけるような、世界に開かれ、地域とともに発展する大学を目指す。

## (4) 大学の特色

大学の特色として次の点が掲げられている。

### ①学生教育の充実

- ・総合大学化による教育の充実（進路や履修科目の選択肢の多様化等）
- ・英語教育における「少人数クラス」の実現及び情報教育の充実
- ・「会計専門職大学院（アカウンティングスクール）」の新設等時代ニーズへの対応
- ・AO入試等の多様な入試方法の導入

### ②県民・地域との交流・貢献の推進

- ・「生涯学習交流センター」による県民の生涯学習ニーズへの対応
- ・「地域ケア開発研究所」による地域看護の充実等地域への貢献

### ③産業界との連携の強化

- ・「産学連携センター」による企業等との連携と大学発ベンチャーの創出支援

- ・「情報系大学院（応用情報科学研究科）」等による地域産業を担う人材の養成

④教育・研究体制の充実

- ・シラバス（授業計画書）に基づく計画的な授業の実施
- ・学生による授業評価の実施
- ・授業内容・方法改善のための組織的な取組（ファカルティ・ディベロップメント）の推進
- ・各専門分野の資源融合による新分野における共同研究の推進
- ・研究環境の充実による産学官共同研究や国際的な学术交流の推進
- ・教員の「公募制」及び「任期制」の導入による教育・研究の活性化の推進

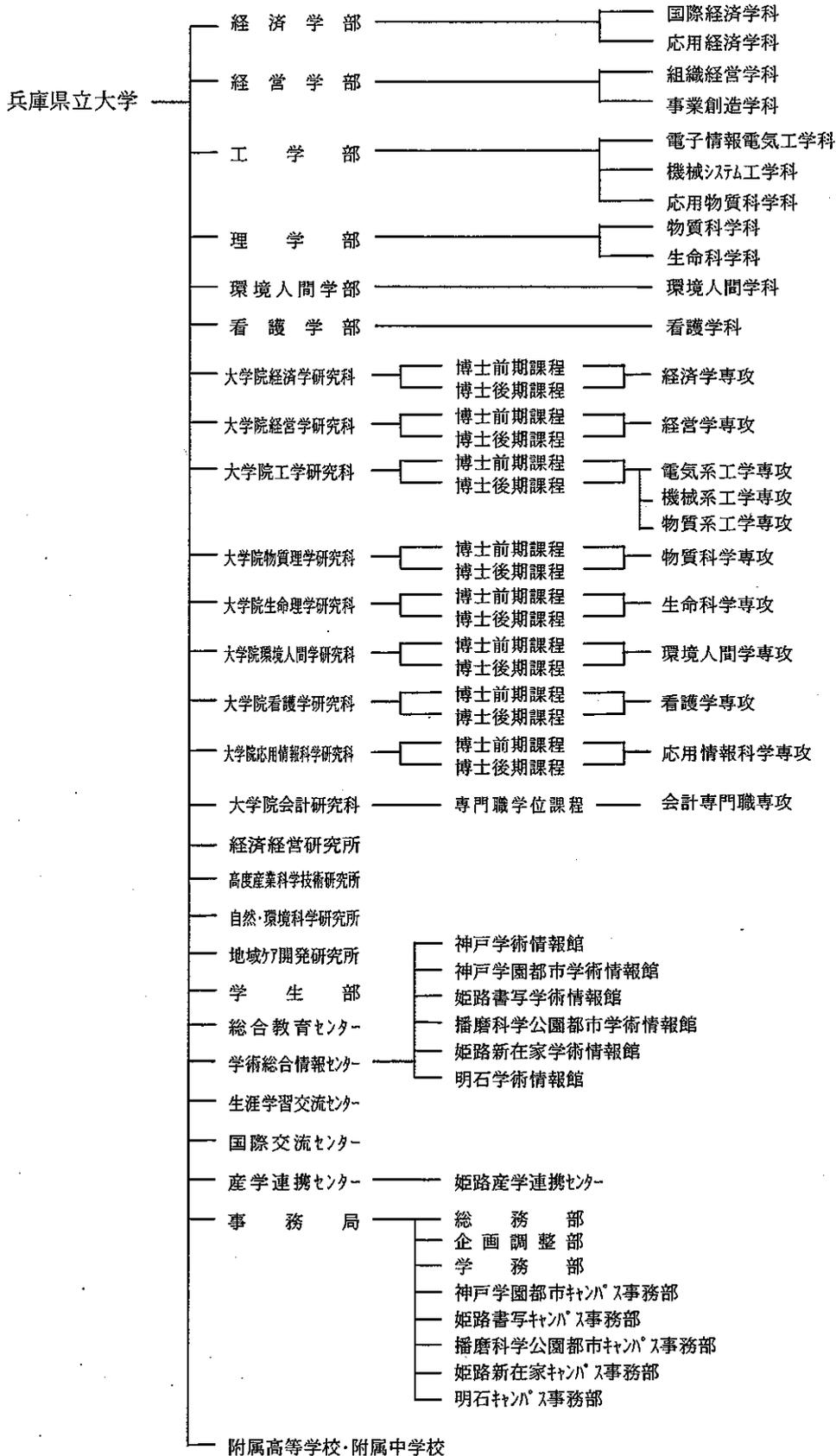
⑤開かれた自主的な大学運営

- ・県民に開かれた県立大学（運営協議会の設置や外部評価の導入等）
- ・大学運営による自主・自律性と自己責任の確立（大学が策定する中期計画による運営等）

⑥その他

- ・中高一貫教育の推進

(5) 組織図 (平成19年4月1日)



(6) 教職員の状況

① 教職員現員表（非常勤者、嘱託は除く）

1) 大学

（平成19年4月1日現在）

	教 育 職								その他の職				合計
	学長	副学長	教授	准教授	講師	助教	助手	計	事務職	技術職	技労職	計	
兵庫県立大学	1	4	238	171	32	93	16	555	133	8	34	175	730

2) 附属高等学校

	教 育 職							事務職	合計
	校長	副校長	教頭	教諭	養護教諭	実習助手	計		
附属高校	(1)	1	1	36	1	4	43	3	46

（注）校長は大学教員が兼務

3) 附属中学校

	教 育 職							事務職	合計
	校長	副校長	教頭	教諭	養護教諭		計		
附属中学校	(1)	(1)	1	6	1		8	1	9

（注）校長は附属高校長が兼務

（注）副校長は附属高校副校長が兼務

## ②県立大学の教員数内訳

	学 長	副学長	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手	合 計	非常勤講師等		
学 長 ・ 副 学 長	1	4						5			
経 済 学 部			34	13	1	0	1	49	117		
経 営 学 部			26	19	4	1	0	50			
工 学 研 究 科			41	42	2	29	1	115	85	(3)	
物 質 理 学 研 究 科			18	15	0	15	0	48	41		
生 命 理 学 研 究 科			14	14	0	14	0	42		(2)	
環 境 人 間 学 部			45	26	5	5	0	81	29	(2)	[5]
看 護 学 部			17	11	7	17	12	64	32	(5)	
応 用 情 報 科 学 研 究 科			10	5	0	0	0	15	5		
会 計 研 究 科			8	0	0	0	0	8			
経 済 経 営 研 究 所			1	1	0	1	1	4			
自 然 ・ 環 境 科 学 研 究 所			18	16	13	5	1	53			
高 度 産 業 科 学 技 術 研 究 所			4	5	0	5	0	14		(2)	[2]
地 域 ケ ア 開 発 研 究 所			1	2	0	0	0	3			
学 術 総 合 情 報 セ ン タ ー			1	2	0	1	0	4			
								0			
合 計	1	4	238	171	32	93	16	555	309	(14)	[7]

非常勤講師等は、平成18年度の実績数で非常勤講師309名、( )内客員教員14名、[ ]内非常勤研究員7名である。

③事務、技術職員等内訳（平成19年3月31日現在）

区 分	事務・技術職							技能労務職							常勤 合計	臨時的任用職員							非常勤嘱託員							
	神 戸	学 園	書 写	播 磨	新 在 家	明 石	計	神 戸	学 園	書 写	播 磨	新 在 家	明 石	計		神 戸	学 園	書 写	播 磨	新 在 家	明 石	計	神 戸	学 園	書 写	播 磨	新 在 家	明 石	計	
総務部	10	11	10	9	8	8	56	4	7	7	0	5	2	25	81	1	0	4	0	0	1	6	4	5	10	7	2	5	33	
秘書課・総務課	7		6	7	8	7	35			3		5	2	10	45	1		1			1	3	3			8	4	2	4	21
財務課	3						3							0	3							0	1							1
企画調整課		7					7	4	5					9	16							0		4						4
経理課		4	4				8		2	4				6	14			3				3		1	2					3
研究課				2		1	3							0	3							0				3		1		4
企画調整部	8	0	0	0	0	0	8	0	0	0	0	0	0	0	8	1	0	0	0	0	0	1	6	0	0	0	0	0	0	6
企画課	4						4							0	4							0								0
社会貢献課	4						4							0	4	1						1	6							6
学務部	9	12	13	6	6	7	53	0	0	0	0	0	0	0	53	0	1	1	0	1	1	4	3	3	6	3	0	1		16
学務企画調整課	5						5							0	5							0	2							2
学術総合情報 応用情報課	4						4							0	4							0	1							1
教務課(学務課)		7	7	6	6	7	33							0	33		1			1	1	3		2	4	3		1		10
学生課		5	6				11							0	11			1				1		1	2					3
学術情報館(課)			9	7	3	3	25			1				1	26							0		4	1	2	2	3		12
工作課				2			2			10				10	12							0			2					2
合 計	27	32	32	18	17	18	144	4	7	18	0	5	2	36	180	2	1	5	0	1	2	11	13	12	19	12	4	9		69

注1：局長、事務部長等課に属さない管理職は、総務課・企画調整課に計上

注2：自動車運転員は、本部総務課に計上

3：産学コーディネーター（姫路書写）は、本部社会貢献課に計上

4：学園：神戸学園都市キャンパス 書写：姫路書写キャンパス 播磨：播磨科学公園都市キャンパス  
 新在家：姫路新在家キャンパス 明石：明石キャンパス

## ④他大学との教職員数の比較

学部数・学生数が県立大学と比較的近似の公立大学における教員・職員の数を県立大学の教員・職員数と比較してみたところ、下記表のごとく、教員1人当り学生数11.9人(平均12.3人)、職員1人当り学生数36.4人(平均30.3人)、職員1人当り教員数3.1人(平均2.5人)とほぼ他大学の平均レベルである。なお、県立大学の常勤職員数179人は平均値224人と比べ若干少ない。ただ、北九州市立大学が教員数・職員数共に大幅に少ないのは理工科系の学部、研究科が設置されていないことによるものと思われる。

(出典)平成18年度公立大学実態調査表(公立大学協会発行)

大学名	学部数	研究科数	学生数 (総現員)	専任教員 (現員)	非常勤 講師	学長 副学長	常勤職員 数(現員)	嘱託 職員数
			A	B	C		D	E
兵庫県立大学	6	8	6,521	550	268	5	179	66
首都大学東京	4	12	8,687	685	1,542	1	359	29
横浜市立大学	6	6	4,226	384	0	1	130	358
名古屋市立大学	6	7	3,790	414	519	0	153	490
大阪府立大学	7	6	8,039	791	258	0	248	0
大阪市立大学	8	9	9,413	808	667	0	422	0
北九州市立大学	5	8	6,856	239	328	1	79	91
平均	5	7	6,790	553	512	1	224	85

大学名	教員1人当学生数		職員1人当学生数		職員1人当教員数		
	A/B	A/(B+C)	A/D	A/(D+E)	B/D	(B+C)/D	(B+C)/(D+E)
兵庫県立大学	11.9	8.0	36.4	26.6	3.1	4.6	3.3
首都大学東京	12.7	3.9	24.2	22.4	1.9	6.2	5.7
横浜市立大学	11.0	11.0	32.5	8.7	3.0	3.0	0.8
名古屋市立大学	9.2	4.1	24.8	18.8	2.7	6.1	4.6
大阪府立大学	10.2	7.7	32.4	32.4	3.2	4.2	4.2
大阪市立大学	11.6	6.4	22.3	22.3	1.9	3.5	3.5
北九州市立大学	28.7	12.1	86.8	40.3	3.0	7.2	3.3
平均	12.3	6.4	30.3	22.0	2.5	4.7	3.4

(7) 学生定員と現員

県立大学は平成16年4月に設置された関係上、平成19年4月1日現在では、県立大学の学生と共に、神戸商科大学、姫路工業大学、兵庫県立看護大学の学生も下記のとおり存在している。そのため県立大学の学生6,158名と上記3大学の学生数248名で合計6,406名になっている。

①学生定員現員表

(平成19年4月1日現在)

大学名等	区 分	入学定員	平成19年度入試		総定員	総現員	
			志願者数	入学者数			
経 済 学 部	国 際 経 済 学 科	200	1,236	225	800	852	
	応 用 経 済 学 科						
経 営 学 部	組 織 経 営 学 科	130	446	147	520	566	
	事 業 創 造 学 科	100	418	104	400	421	
工 学 部	電 子 情 報 電 気 工 学 科	126	443	130	504	525	
	機 械 シ ス テ ム 工 学 科	126	552	128	504	524	
	応 用 物 質 科 学 科	100	352	107	400	421	
理 学 部	物 質 科 学 科	90	1,039	110	360	385	
	生 命 科 学 科	85	1,009	85	340	347	
環 境 人 間 学 部	環 境 人 間 学 科	200	994	202	800	817	
看 護 学 部	看 護 学 科	100 (10)	469	102	400 (20)	427	
学 部 計		1,257 (10)	6,958	1,340	5,028 (20)	5,285	
大 学 院 博 士 前 期 課 程 専 門 職 学 位 課 程	経 済 学 研 究 科	経 済 学 専 攻	20	24	8	40	27
	経 営 学 研 究 科	経 営 学 専 攻	15	23	8	30	28
	工 学 研 究 科	電 気 系 工 学 専 攻	35	68	46	70	89
		機 械 系 工 学 専 攻	35	75	60	70	123
		物 質 系 工 学 専 攻	30	62	56	60	105
	物 質 理 学 研 究 科	物 質 科 学 専 攻	32	29	19	64	54
	生 命 理 学 研 究 科	生 命 科 学 専 攻	28	43	30	56	62
	環 境 人 間 学 研 究 科	環 境 人 間 学 専 攻	30	41	32	60	62
	看 護 学 研 究 科	看 護 学 専 攻	25	29	20	50	45
	応 用 情 報 科 学 研 究 科	応 用 情 報 科 学 専 攻	40	37	29	80	65
	会 計 研 究 科	会 計 専 門 職 専 攻	40	66	42	40	42
	博 士 前 期 課 程 ・ 専 門 職 学 位 課 程 計		330	497	350	620	702
	大 学 院 博 士 後 期 課 程	経 済 学 研 究 科	経 済 学 専 攻	5	8	6	15
経 営 学 研 究 科		経 営 学 専 攻	6	5	3	18	15
工 学 研 究 科		電 気 系 工 学 専 攻	9	3	3	27	8
		機 械 系 工 学 専 攻	9	2	2	27	8
		物 質 系 工 学 専 攻	7	2	2	21	11
物 質 理 学 研 究 科		物 質 科 学 専 攻	11	6	6	33	18
生 命 理 学 研 究 科		生 命 科 学 専 攻	9	4	4	27	32
環 境 人 間 学 研 究 科		環 境 人 間 学 専 攻	6	7	7	18	20
看 護 学 研 究 科		看 護 学 専 攻	4	7	5	12	17
応 用 情 報 科 学 研 究 科		応 用 情 報 科 学 専 攻	10	15	14	20	23
博 士 後 期 課 程 計		76	59	52	218	171	
大 学 院 計		406	556	402	838	873	
合 計		1,663 (10)	7,514	1,742	5,866 (20)	6,158	

(注) 入学定員・総定員の( )の数は看護学部の第3年次編入学者数で外数である。  
平成19年度入試の志願者及び入学者数には、編入学は含まない。

(平成19年4月1日現在)

大学名等		区 分		入学定員	総現員	
神戸商科大学	商学 経部	経済学 科		150	33	
		経営学 科		130	22	
		管理科学 科		70	24	
		国際商学 科		80	19	
	小 計		430	98		
	大学院	博士前期課程	経済学研究科	経済学専攻	20	1
			経営学研究科	経営学専攻	24	3
				経営情報科学専攻	6	0
			小 計		50	4
		博士後期課程	経済学研究科	経済学専攻	5	2
			経営学研究科	経営学専攻	5	2
				経営情報科学専攻	3	0
			小 計		13	4
計		493	106			
姫路工業大学	工学部	電気工学科		45	13	
		機械工学科		45	10	
		応用化学科		50	7	
		産業機械工学科		45	13	
		電子工学科		45	19	
		材料工学科		50	11	
		機械知能工学科		36	11	
		情報工学科		36	10	
		小 計		352	94	
	理学部	物質科学科		90	16	
		生命科学科		85	8	
		小 計		175	24	
	環境人間学部	環境人間学科		200	7	
		小 計		200	7	
	大学院	博士前期課程	工学研究科	電気系工学専攻	35	0
				機械系工学専攻	35	0
			理学研究科	物質系工学専攻	30	0
				物質科学専攻	32	0
				生命科学専攻	28	0
		小 計		160	0	
		修士課程	環境人間学研究科	環境人間学専攻	24	2
		博士後期課程	工学研究科	電気系工学専攻	9	1
				機械系工学専攻	9	1
物質系工学専攻				7	2	
理学研究科			物質科学専攻	11	0	
	生命科学専攻		9	1		
小 計		45	5			
計		956	132			
兵庫県立看護大学	看護部	看護学 科		100	1	
				(10)		
	大学院	博士前期課程	看護学研究科	看護学専攻	25	-
		博士後期課程	看護学研究科	看護学専攻	4	9
計		129	10			
合 計		1,578	248			
		(10)				

(注) 入学定員は平成15年度のものである。現員は平成15年度以前に上記3大学に入学した者で平成19年4月1日現在の在籍者である。

## ②教員・職員1人当たりの学生数の状況

県立大学の教員・職員1人当たり学生数の多寡につき近畿地区の公立大学と比較すると次のように県立大学は教員1人当たり学生数は11.9人で、全国公立大学平均10.9人、大阪市立大学11.6人とほぼ同レベルにある。また職員1人当たり学生数は36.4人で、全国公立大学平均25.5人よりは10.9人多く、大阪市立大学22.3人、大阪府立大学32.4人よりも多いことから、職員数は相対的に少ないレベルにあると思われる。

なお医科系大学は教員・職員1人当たり学生数は少なく、文科系大学は多くなっている。

区 分	教員1人当たり 学生数(人)	職員1人当たり 学生数(人)
兵庫県立大学	11.9	36.4
滋賀県立大学	13.0	45.6
京都府立大学	14.0	24.6
京都府立医科大学	3.8	9.4
京都市立芸術大学	10.4	34.4
大阪府立大学	10.2	32.4
大阪市立大学	11.6	22.3
神戸市外国語大学	25.8	46.4
神戸市看護大学	8.1	34.1
奈良県立医科大学	2.9	10.6
奈良県立大学	21.2	55.1
和歌山県立医科大学	2.6	10.0
全国76公立大学平均	10.9	25.5

(出典) 平成18年度公立大学実態調査表(公立大学協会発行)

## ③県内・県外入学者の状況(平成18年度)

平成18年度の学部入学者につき兵庫県内出身者と県外出身者の割合は下記のごとく、県内出身者57.5%、県外出身者42.5%であり、若干県内出身者の方が多くなっている。

ただ、工学部に県内出身者が75.2%と高い一方、理学部に県内出身者が40.8%と少ない。

(単位:人、%)

学 部	県内出身者		県外出身者		合 計
	人	%	人	%	
経 済 学 部	112	53.1	99	46.9	211
経 営 学 部	125	47.2	140	52.8	265
工 学 部	267	75.2	88	24.8	355
理 学 部	82	40.8	119	59.2	201
環 境 人 間 学 部	116	56.3	90	43.7	206
看 護 学 部	68	68.0	32	32.0	100
合 計	770	57.5	568	42.5	1,338

注) 出身高校の所在地別による。ただし、高等学校卒業程度認定試験合格者等、外国人は県外者に含む。

## ④県立大学学部卒業者の就職決定率と県内就職率

県立大学学部の平成19年3月卒業者のうち就職希望者の就職決定率は下表のとおり97.9%である。これは国公立大学の全国平均96.4%より若干高い率になっている。また県内就職率は全体で33.3%であるが、県立看護大は61.5%と高い率になっている。

(H19.3末現在)

大学名	性別	卒業者 ①	就職 希望者 (a)	就職 決定者 (b)	就職決定者の うち県内・県外		就職 決定率 (b)/(a)	県内 就職率	
					県内	県外			
神戸商科大学	男	269	230	223	48	175	97.0%	21.5%	
	女	200	175	170	39	131	97.1%	22.9%	
	計	469	405	393	87	306	97.0%	22.1%	
姫路工業大学	工学部	男	354	164	163	65	98	99.4%	39.9%
		女	24	13	13	4	9	100.0%	30.8%
		計	378	177	176	69	107	99.4%	39.2%
	理学部	男	117	51	51	10	41	100.0%	19.6%
		女	50	24	24	6	18	100.0%	25.0%
		計	167	75	75	16	59	100.0%	21.3%
	環境人間学部	男	71	46	45	15	30	97.8%	33.3%
		女	141	120	115	50	65	95.8%	43.5%
		計	212	166	160	65	95	96.4%	40.6%
	計	男	542	261	259	90	169	99.2%	34.7%
女		215	157	152	60	92	96.8%	39.5%	
計		757	418	411	150	261	98.3%	36.5%	
県立看護大学	男	5	5	5	3	2	100.0%	60.0%	
	女	108	105	104	64	40	99.0%	61.5%	
	計	113	110	109	67	42	99.1%	61.5%	
合計	男	816	496	487	141	346	98.2%	29.0%	
	女	523	437	426	163	263	97.5%	38.3%	
	計	1339	933	913	304	609	97.9%	33.3%	

(参考) 全国の状況 (文部科学省・厚生労働省調査、H19.4.1現在)

## 国公立別

大学	全体	男	女
全体	96.3%	96.6%	96.0%
国公立	96.4%	96.5%	96.4%
私立	96.3%	96.6%	95.9%

## ⑤県立大学の学部卒業者の就職先業種

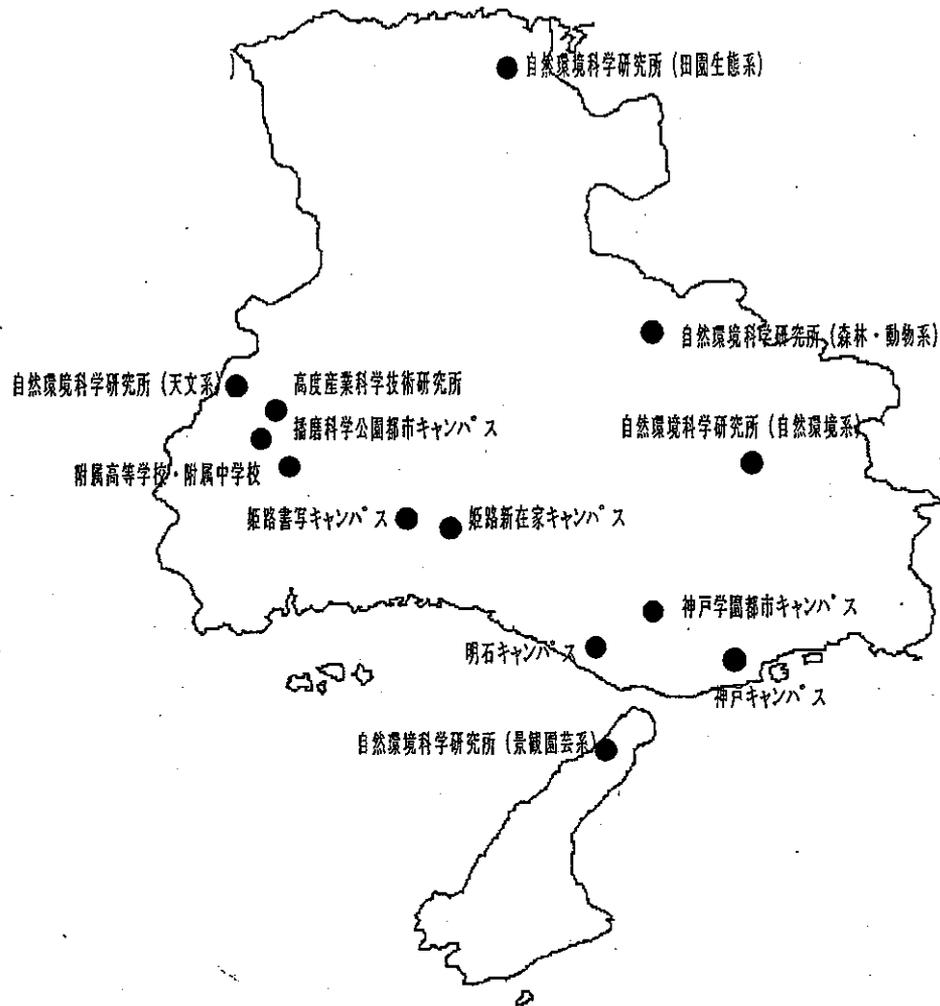
平成19年3月卒業者の就職先業種は製造業が27.3%、次いでサービス業が17.8%と高い割合を占めている。なお、学部別の就職先状況は各学部の説明箇所に記載している。

(単位：人)

		大学計	割合
卒業生総数		1,339	
進学者数		331	
その他		75	
就職希望者数 (A)		933	
就職者数 (B)		913	100%
就職者の内訳	公務	39	4.3%
	建設業	23	2.5%
	製造業	249	27.3%
	卸売・小売業	108	11.8%
	金融・保険業	128	14.0%
	医療・福祉	110	12.0%
	複合サービス事業、 サービス業	162	17.8%
	その他	94	10.3%
就職率 (B/A) %		97.9	

(8) 施設の概要

① キャンパス配置図



②施設一覧表 (平成19年4月1日現在)

a. 校舎等

	建物の用途別面積					
	校舎					
	講義室・演習室	実験室・実習室	研究室	図書室	管理関係その他	計
神戸キャンパス	611.85㎡ (611.85㎡)	67.97㎡ (67.97㎡)	658.02㎡ (658.02㎡)	153.68㎡ (153.68㎡)	1,881.15㎡ (1,881.15㎡)	3,372.67㎡ (3,372.67㎡)
神戸学園都市キャンパス	5,453.15㎡	1,024.43㎡	2,631.44㎡	4,527.91㎡	13,935.33㎡	27,572.26㎡
姫路書写キャンパス	6,615.21㎡	14,281.61㎡	4,296.62㎡	2,889.97㎡	21,401.22㎡	49,484.63㎡
播磨科学公園都市キャンパス	1,091.81㎡	7,011.88㎡	1,498.74㎡	771.82㎡	10,204.04㎡	20,578.29㎡
姫路新在家キャンパス	3,233.88㎡	2,086.60㎡	2,533.58㎡	1,156.01㎡	7,760.83㎡	16,770.90㎡
明石キャンパス	1,288.71㎡	1,505.42㎡	951.17㎡	839.00㎡	5,924.03㎡	10,508.33㎡
大学合計	18,294.61㎡ (611.85㎡)	25,977.91㎡ (67.97㎡)	12,569.57㎡ (658.02㎡)	10,338.39㎡ (153.68㎡)	61,106.60㎡ (1,881.15㎡)	128,287.08㎡ (3,372.67㎡)
兵庫県立大学附属高等学校	8,537.18㎡					8,537.18㎡
兵庫県立大学附属中学校	2,569.42㎡					2,569.42㎡
総計						139,393.68㎡ (3,372.67㎡)

	建物の用途別面積						合計
	講堂	体育施設	附属研究所	その他	小計	教職員住宅	
神戸キャンパス	-	-	-	-	3,372.67㎡ (3,372.67㎡)	-	3,372.67㎡ (3,372.67㎡)
神戸学園都市キャンパス	1,304.30㎡	3,212.90㎡	1,167.01㎡	1,078.98㎡	34,335.45㎡	1,698.12㎡	36,033.57㎡
姫路書写キャンパス	-	2,312.60㎡	-	-	51,797.23㎡	2,857.84㎡	54,655.07㎡
播磨科学公園都市キャンパス	-	1,805.69㎡	6,326.29㎡	5,347.38㎡	34,057.65㎡	1,219.90㎡	35,277.55㎡
姫路新在家キャンパス	649.57㎡	1,651.22㎡	-	2,678.31㎡	21,750.00㎡	1,135.15㎡	22,885.15㎡
明石キャンパス	1,677.28㎡	1,687.20㎡	2,010.00㎡	36.00㎡	15,918.81㎡	1,314.36㎡	17,233.17㎡
大学合計	3,631.15㎡	10,669.61㎡	9,503.30㎡	9,140.67㎡	161,231.81㎡ (3,372.67㎡)	8,225.37㎡	169,457.18㎡ (3,372.67㎡)
兵庫県立大学附属高等学校	3,321.64㎡	-	-	10,632.84㎡	22,491.66㎡	-	22,491.66㎡
兵庫県立大学附属中学校	-	-	-	43.57㎡	2,612.99㎡	-	2,612.99㎡
総計	6,952.79㎡	10,669.61㎡	9,503.30㎡	19,817.08㎡	186,336.46㎡ (3,372.67㎡)	8,225.37㎡	194,561.83㎡ (3,372.67㎡)

(注1) ( ) 内は神戸キャンパスの建物で、借受等の面積を内数で記入。

	土地の用途別面積				合計
	校舎等敷地	運動場	小計	教職員住宅 敷地	
神戸キャンパス	—	—	—	—	—
神戸学園都市キャンパス	126,691.77㎡	32,800.00㎡	159,491.77㎡	1,882.40㎡	161,374.17㎡
姫路書写キャンパス	128,544.76㎡	26,617.00㎡	155,161.76㎡	4,603.14㎡	159,764.90㎡
播磨科学公園都市キャンパス	107,784.07㎡ (18,520.32㎡)	26,441.00㎡	134,225.07㎡ (18,520.32㎡)	3,999.91㎡	138,224.98㎡ (18,520.32㎡)
姫路新在家キャンパス	37,873.64㎡	19,879.32㎡	57,752.96㎡	3,000.36㎡	60,753.32㎡
明石キャンパス	19,630.77㎡ (42.00㎡)	14,992.24㎡	34,623.01㎡ (42.00㎡)	1,292.76㎡	35,915.77㎡ (42.00㎡)
大学合計	420,525.01㎡ (18,562.32㎡)	120,729.56㎡	541,254.57㎡ (18,562.32㎡)	14,778.57㎡	556,033.14㎡ (18,562.32㎡)
兵庫県立大学附属高等学校	42,728.87㎡	28,351.00㎡	71,079.87㎡	—	71,079.87㎡
兵庫県立大学附属中学校	9,800.25㎡	—	9,800.25㎡	—	9,800.25㎡
総計	473,054.13㎡ (18,562.32㎡)	149,080.56㎡	622,134.69㎡ (18,562.32㎡)	14,778.57㎡	636,913.26㎡ (18,562.32㎡)

(注2) ( )内は高度産業科学技術研究所、明石キャンパスの土地で、借受等の面積を内数で記入。

#### b. 教職員住宅

住宅名	構造	建築年次	戸数	所在地
美山台住宅	鉄筋コンクリート造 2階建	S53	6戸	神戸市垂水区美山台3丁目
学園住宅	鉄筋コンクリート造 4階建	H2	16戸	神戸市西区学園西町8丁目
書写台住宅	鉄筋コンクリート造 4階建	S44	24戸	姫路市書写台1丁目
辻井住宅	鉄筋コンクリート造 3階建	S53	18戸	姫路市辻井8丁目
テノ第1住宅	鉄骨造 2階建	H3	10戸	赤穂郡上郡町光都
テノ第2住宅	鉄骨造 2階建	H3	10戸	赤穂郡上郡町光都
貴崎住宅	鉄筋コンクリート造 4階建	H5	16戸	明石市貴崎
新在家住宅	鉄筋コンクリート造 2階建	S40	19戸	姫路市新在家

#### c. 学生寮・寄宿舍

名称	構造	建築年次	戸数	所在地
西播磨学生寮A・B棟	鉄筋コンクリート造 3階建	H3	120戸	たつの市新宮町光都
西播磨学生寮C棟	鉄筋コンクリート造 5階建	H17	100戸	たつの市新宮町光都
附属高校寄宿舍 (黎明寮)	男子棟	鉄骨鉄筋コンクリート造 9階建	H6 419戸 (うち大学分200戸)	たつの市新宮町光都
	女子棟	鉄骨鉄筋コンクリート造 8階建	H6 166戸 (うち大学分72戸)	

## (9) 収支の状況

## ①直近3年間の収支の概要

県立大学に係る直近3年間の歳入と歳出の状況は次のとおりであり、これら収支の差額は平成16年度89億円、平成17年度81億円、平成18年度91億円となっている。この年度による差は大学整備費の多寡による影響が大である。

(単位：千円)

区 分	平成16年度	平成17年度	平成18年度
歳 入			
使用料及び手数料	3,878,103	3,956,101	3,963,407
国庫より受入金	2,817	7,174	47,273
諸収入	730,206	636,741	681,375
財産収入	26,983	26,493	25,327
歳 入 計	4,638,110	4,626,511	4,717,383
歳 出			
大学職員費	7,981,960	8,068,912	8,077,527
大学維持管理費	1,379,321	1,341,999	1,225,250
大学運営費	2,772,209	2,634,929	2,807,221
大学整備費	679,521	132,269	731,002
教職員退職手当	677,851	568,252	992,420
学校施設災害復旧費	5,094	-	-
他部局より令達分	44,875	37,117	36,468
歳 出 計	13,540,834	12,783,481	13,869,891
収 支 差 額	8,902,723	8,156,963	9,152,508

大学整備費の内訳	平成16年度	平成17年度	平成18年度
地域開発研究所埋蔵文化財整備費	679,521	5,852	
産学連携共用実験棟整備費		35,166	338,691
会計専門職大学院整備費		8,546	注1 203,134
附属中学校整備費		2,308	120,675
西播磨学生寮使用料		80,397	68,502
計	679,521	132,269	731,002

注1 平成19年度繰越額42,168千円を含む。

## ②平成18年度歳入・歳出の内訳

平成18年度の歳入・歳出の主な内訳科目は次のとおりである。

歳 入		内 訳	
区 分	金 額	科 目	金 額
使用料及び手数料	3,963,407	大学授業料 全日制高校授業料 大学入学料 大学入学考査料 その他	3,182,953 50,298 573,136 135,905 21,113
国庫より受入金	47,273	義務教育費国庫負担金 理科教育振興費補助金 県立大学研究調査委託費 外国人留学生教育委託費 県立大学人材育成委託費	14,300 15,772 7,000 3,214 6,986
諸 収 入	681,375	県立大学研究調査受託費 県立大学外部研究資金 その他	215,136 394,083 72,155
財 産 収 入	25,327	財産貸付収入 その他	25,248 78
歳 入 計 ①	4,717,383		

歳 出		内 訳	
区 分	金 額	科 目	金 額
大学職員費	8,077,527	給料 職員手当等 共済費	4,267,927 2,665,592 1,144,008
大学維持管理費	1,225,250	需用費 委託料 使用料及び賃借料 その他	349,849 170,733 645,957 58,709
大学運営費	2,807,221	報酬 旅費 需用費 委託料 備品購入費 交付金 役務費 その他	295,042 206,725 1,094,655 220,921 515,202 145,598 98,465 230,610
大学整備費	731,002	使用料賃貸料 工事請負費 公有財産購入費 備品購入費 その他	69,309 591,234 28,686 26,633 15,138
教職員退職手当	992,420	職員手当等	992,420
他部局より令達分	36,468	エバーウェア社会推進費他	35,381
歳 出 計 ②	13,869,888		
収 支 差 額 ①-②	9,152,505		

## 2. 神戸学園都市キャンパス

神戸学園都市キャンパスの所在地は神戸市西区学園西町8丁目2番地の1である。

当キャンパスには経済学部と経営学部及び大学院の経済学研究科、経営学研究科、会計学研究科が置かれているほか、神戸商科大学の商経学部、大学院が共存するかたちになっており、教職員も2つの大学の職務を兼務している。なお、当キャンパスでは、経済・経営の学部生と共に、明石キャンパスに在籍する看護学部の全学共通教育も実施しており、全学共通教育における東地区の拠点となっている。これら学部および大学院の概要は次のとおりである。

### (1) 学生の状況

下記の学生数は平成19年5月1日現在の状況であり、神戸商科大学が並存していることから、5回生以上の学生は神戸商科大学に属し、1~4回生は県立大学に属している。

#### ① 学部

学科名		定員	性別	1回生	2回生	3回生	4回生	5回生以上	計		
兵庫県立大学	経済学部	国際経済学科	男	注①	60	57	69	/	/		
			女		43	43	56				
			計		103	100	125				
		応用経済学科	男		71	71	56				
			女		36	37	28				
			計		107	108	84				
	小計	男	125 (1)	131 (5)	128 (6)	125 (8)	/	509 (20)			
		女	100 (4)	79 (2)	80 (3)	84 (3)					
		計	225 (5)	210 (7)	208 (9)	209 (11)					
	経営学部	組織経営学科	男	73 (1)	82 (2)	71 (5)	72 (3)	/	298 (11)		
			女	74 (5)	68 (3)	71 (2)	55 (2)				
			計	147 (6)	150 (5)	142 (7)	127 (5)				
		事業創造学科	男	67 (2)	66 (2)	75 (2)	59 (2)			/	267 (8)
			女	37 (3)	47 (2)	31 (2)	39 (1)				
計			104 (5)	113 (4)	106 (4)	98 (3)					
小計	男	140 (3)	148 (4)	146 (7)	131 (5)	/	565 (19)				
	女	111 (8)	115 (5)	102 (4)	94 (3)						
	計	251 (11)	263 (9)	248 (11)	225 (8)						
神戸商科大学	商経学部	経済学科	男	/	/	/	/	27	27		
			女					6	6		
		計	33					33			
		経営学科	男					22	22		
	女		0					0			
	管理科学科	男	22					22			
		女	21					21			
	国際商学科	男	3					3			
		女	24					24			
		計	10					10			
		男	9 (1)					9 (1)			
	小計	女	19 (1)					19 (1)			
		計	80					80			
		男	18 (1)					18 (1)			
女		98 (1)	98 (1)								
合計	男	265 (4)	279 (9)	274 (13)	256 (13)	80	1154 (39)				
	女	211 (12)	194 (7)	182 (7)	178 (6)	18 (1)	783 (33)				
	計	476 (16)	473 (16)	456 (20)	434 (19)	98 (1)	1937 (72)				

(注) 特別入学外国人学生(定員外)を( )内書きした。

注① 経済学部の1回生は学科区分を設けていない。

②大学院

学科名		定員	性別	1回生	2回生	3回生	4回生以上	計	
兵庫県立大学	博士前期課程	経済学研究科	20	男	7(2)	10(5)	3(3)	0	20(10)
			女	1(0)	5(1)	1(0)	0	7(1)	
			計	8(2)	15(6)	4(3)	0	27(11)	
	博士後期課程	経営学研究科	15	男	6(0)	9(3)	5(1)	2	22(4)
				女	2(2)	3(3)	0	1	6(5)
				計	8(2)	12(6)	5(1)	3	28(9)
	博士後期課程	経済学研究科	5	男	6(4)	1(1)	4(1)	5(1)	16(7)
				女	0	0	3(3)	0	3(3)
				計	6(4)	1(1)	7(4)	5(1)	19(10)
	博士後期課程	経営学研究科	6	男	1(0)	2(1)	0	2	5(1)
女				2(1)	3(2)	4(2)	1(1)	10(6)	
計				3(1)	5(3)	4(2)	3(1)	15(7)	
小計		46	男	20(6)	22(10)	12(5)	9(1)	63(22)	
			女	5(3)	11(6)	8(5)	2(1)	26(15)	
			計	25(9)	33(16)	20(10)	11(2)	89(37)	
神戸商科大学	修士課程	経済学研究科	20	男	/	/	/	1	1
			女	0	0	0	0	0	
			計	1	1	1	1	1	
	博士後期課程	経営学研究科	30	男	/	/	/	3	3
				女	0	0	0	0	0
				計	3	3	3	3	3
	博士後期課程	経済学研究科	5	男	/	/	/	2	2
				女	0	0	0	0	0
				計	2	2	2	2	2
	博士後期課程	経営学研究科	8	男	/	/	/	0	0
女				2	2	2	2	2	
計				2	2	2	2	2	
小計		63	男	/	/	/	6	6	
			女	/	/	/	2	2	
			計	/	/	/	8	8	
合計			男	20(6)	22(10)	12(5)	15(1)	69(22)	
			女	5(3)	11(6)	8(5)	4(1)	28(15)	
			計	25(9)	33(16)	20(10)	19(2)	97(37)	
会計大学院	会計研究科	40	男	26(1)	/	/	/	26(1)	
			女	16	/	/	/	16	
			計	42(1)	/	/	/	42(1)	
合計			男	46(7)	22(10)	12(5)	15(1)	95(23)	
			女	21(3)	11(6)	8(5)	4(1)	44(15)	
			計	67(10)	33(16)	20(10)	19(2)	139(38)	

(注) 1 特別入学外国人学生(定員外)を( )内書きした。

2 上記のほか研究生 兵庫県立大学経済学研究科 男3人、女4人(外国人男3人、女4人)  
経営学研究所 男2人、女0人(外国人男1人、女0人)

## (2) 教職員の状況

教職員は学部と大学院を兼務している。

## a. 教員の状況（平成19年5月1日現在）

	経済学部	経営学部	会計研究科	共通	計
教員	49	50	8		107
非常勤講師				111	111
計	49	50	8	111	218

上記には経済経営研究所の教員4名、神戸学園都市学術情報館の教員3名、外国人教員1名は含まれていない。

## b. 事務部職員の状況（平成19年3月31日現在）

	企画調整課	経理課	教務課	学生課	学術情報課	合計
事務職員	7	4	7	5	9	32
技能労務職等	5	2				7
臨時的任用職員			1			1
非常勤嘱託員	4	1	2	1	4	12
計	16	7	10	6	13	52

## (3) 教育理念と特色

## ① 経済学部及び大学院

## (教育理念)

経済学は、グローバル化し複雑化していく社会を読み解く海図であり、現在社会の抱える問題を解決し新時代を切り開いていく上で不可欠である。経済学部では、グローバル経済・地域・環境・公共政策など、社会の要請に応える経済学を体系的に提供し、新時代を切り開き、地域社会・国際社会に貢献するエコノミストを養成することを目指している。

## (特色)

- ・ 確固たる基礎力を持つエキスパートの育成

全ての経済学部生が、伝統的な経済学の基礎を確実に修得し、この経済分析力を基礎としてより特化した専門領域の学習を行えるカリキュラム編成になっている。新入生は経済